

布

五年

回数 5
筆順 ノナ
フ

右布

ぬの

成り立ち



↓ ↓ ↓ ↓ ↓ 布

もとは「裕」で、「敷く」という意味の「敷」と同じ音なので、その意味をかりた「父」と、「布」の意味の「巾」とを組み合わせて作った字です。

「敷き布」という意味の字で、もとは「敷き布」のこ
とを表した字ですが、今は、「敷く(敷き広げる)」とい
う意味(例)布陣、布教、散布、布告、布石」と、「布」と
いう意味(例)毛布、綿布、布団)とに使われています。

使い方

▽キリスト教が日本で最初に布教されたのは、一五四九年のことでした。イスパニアの宣教師、フランシスコ・ザビエルによって、最初の布教がなされたのです。キリスト教は、またたく間に日本に広まりましたが、後に弾圧されて、布教を禁じられました。

▽冬になると寒いので厚い布団をかけます。間に毛布をかける人もいます。昼、太陽が照っている時に、布団を干しておく、夜、暖かて、ぐっすり眠れます。

熟語例

- ▽布陣(陣を敷くこと。陣地をかまえること。)
- ▽布教(教えを広めること。とくに、宗教を広めること。)
- ▽散布(広くまき散らすこと。「農薬を散布する」などというふうな、つかいます。)
- ▽布告(国家が、その決定などを国の内外に告げ、知らせること。)
- ▽布石(碁で、最初のうちに敷き並べる石のこと。また、そこから、将来のために、何らかの手をうつことを言います。)

婦

五年

回数 11
筆順 女
フ

婦 婦 婦 婦

成り立ち



↓ ↓ ↓ ↓ ↓ 婦

「婦」の本字であり、婦を手にした形を表した「婦」と、「女」とを組み合わせて作った字です。

「婦を手にした女」という意味の字で、「家の働き手の女の人」のことを表した字です。

「一家の主婦(妻)」のことです。例)主婦、夫婦。単に「女(成人した女)」という意味にも使います。例)婦人、婦女、看護婦、婦長。

五年

使い方

▽わたしは、結婚したら、主婦として家事に専念しようか、それとも夫婦共かせぎをしようか、迷っています。できたら、わたしも外で働きたいな、と思います。▽わたしは、将来、看護婦さんになりたいと思います。病人の苦しみを、少しでも軽くしてあげられたらよいな、と思います。

熟語例

- ▽主婦(一家の主人の妻で、家事を中心となって行う女性)
- ▽夫婦(夫と妻。「あの夫婦はとても仲が良い」などというふうな、つかいます。)
- ▽婦人(大人の女の人)
- ▽婦女(女の人。「婦人」と同じ意味です。)
- ▽看護婦(医師を手伝って、病人の世話をするのが仕事の女性)
- ▽婦長(看護婦の長)
- ▽婦警(婦人警官のこと。)
- ▽賢婦(賢い女の人のこと。)

五年